

忍耐は苦い、しかし、その実は甘い  
工藤 雅志さん（西条市(東予市)）

[所属・役職等]

西条市農業委員 1944 年生まれ



☆経営概況☆（経営規模、栽培品目、労働力等）

J A周桑米麦部会に所属し、水稻 600 a、はだか麦 660 a を主に経営にしています。また、妻は大好きな花きを生産し、J A周桑の「周ちゃん広場」で販売を行っています。

☆ここがポイント☆

（特徴的な経営や栽培方法、就農の経緯等）

安価な中古農業機械を購入し、自前で修理するなどして、農業機械のコスト低減を図っています。所有するトラクターは12台、コンバインは6台、田植え機は2台です。特にトラクターは耕うん用、肥料散布用、麦踏み用など、作業用途別に管理しています。なお、新品のトラクターは、妻に気持ちよく作業をしてもらうため妻専用としています。また、効率的な作業を行うため、米麦それぞれに乾燥機を整備しています。調製時にはグレーダー（篩）で2回選別するなど、良質米麦生産に重点をおいています。さらに、平成26年から始まった米麦のフレコンバック出荷に対応するため、いち早く独自に出荷調製の施設を整備、省力化を図っています。

水稻「にこまる」、はだか麦「ハルヒメボシ」などの新品種の作付を積極的に行い、その特性を把握し、品種に適した栽培を目指しています。

両親が農業を行っていたことから、農業を身近に感じていました。建具職人に8年間従事したのち、就農しましたが、この時の経験が、農業機械等の修理、メンテナンスに大変役立っています。

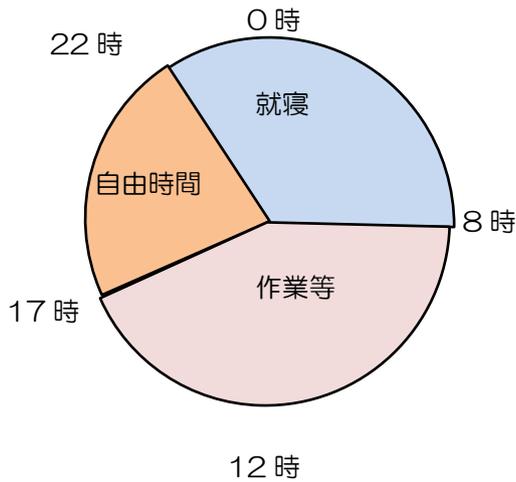


メンテナンスを終えたトラクター



フレコンバック（米600kg）による出荷

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

ライフスタイル  
（作業や余暇の使い方等）

農業は天候に大きく左右されます。特に、麦作の耕起、播種、管理、収穫は雨が降ったらできません。このため、無理をせず、天候や土壌条件が回復したことを確認し、農作業を進めるように心がけています。

休日は特には決めていません。やらなければならないときにやって、休めるときには休んでいます。

籾播きなどの農繁期には、子供夫婦や孫が、手伝ってくれ、今では我が家の年中行事になっています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
8:00~ 17:00						

☆これからの夢や目指すもの☆

私は野口英世先生の「忍耐は苦い、しかし、その実は甘い」という言葉が好きです。

何事においても忍耐と努力は必要です。また、忍耐と努力によって良い結果が出るものでもありません。しかし、忍耐と努力があるから、良い結果を出せると私は思っています。

今後も、健康に気をつけて、「甘い実」がなるよう、夫婦二人三脚で頑張っていきたいと考えています。

☆メッセージ☆

「えひめ笑顔の農林水産人ガイドブック」を拝見しました。多くの青年農業者が、夢を持って活躍されていることをあらためて知りました。これらの方々に続く青年農業者が育つことを願っています。



丹精込めて作られた花き類